

Shokuhin News -2008 March-

神戸大学 農学部 生物機能化学科 食品・栄養化学研究室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 電話 078-803-6553 Fax 078-803-6553

e-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

さようならダス！

ポストドクとして昨年4月から研究室で勤務していたダス スワディッシュ(05年度博士)が3月に研究室を去り渡米した。学生からは一年間お世話になった御礼として、扇子と寄書きがプレゼントされた。

勤務最終日、慌しく身辺整理を終えたダスは学生との挨拶もほどほどに研究室を去って行った。最後までダスらしく、満面の笑顔であったのが印象的であった。

.....と、ここまではよくある話。ダスの使用していたパソコンを引き継いだ大井(D3)はウィルスに感染したパソコンのリカバリーに悪戦苦闘。ダスの笑顔は、ウィルスに感染したパソコン(正確には感染させてしまったパソコン)との決別を意図していた。

Das さん1年間ありがとうございました！

平成19年度学位授与式

平成19年度神戸大学学位記授与式が、3月24日(月、博士後期課程)および25日(火、博士前期課程および学部)の日程で行われた。

本年度の本研究室からの修了生は博士後期課程の大井直美、博士前期課程の岡本真弓、尾崎嘉昭、宮本文生、横山明幸、また学部卒業生は東陽介、的場祐衣、田港麻佑子の計8名。

25日の式典後は、佐々木満専攻長(学科長)から学位記が1人ずつ手渡され、その後、恒例の祝賀会が LANS BOX にて開かれた。

祝賀会の後には、金沢先生の部屋で卒業記念パーティーが催さ

れ、在校生から卒業生・修了生へ記念品の寄書きと御菓子が、卒業生・修了生からは“おでんパーティー”用(?)の大鍋が在校生へ贈呈された。



寄書きとお菓子を手に大喜びの岡本



卒業生・修了生揃って記念撮影！



仲良し3人で記念撮影。左から大井(D3)、上田(M1)、錦(秘書)



金沢先生の部屋にて卒業記念パーティーの後、研究室メンバーで集合写真。



贈呈品の大鍋をもち、大はしゃぎをする上田(M1)

また、生物機能化学科(専攻)の各研究室を訪ね、お世話になった先生方に挨拶を済ませた後は、二次会会場の阪急六甲居酒屋“にじゅうまる”へ繰り出した。



二次会での様子。田港(B4)、岡本(M2)のダブルマドンナによる貴重なツーショット。

社会人として頑張る方も、進学される方も頑張って下さい！また、これからも、食品・栄養化学の研究室の後輩を応援していただきますようお願いいたします。

なお、進路は以下のとおり。

大井直美:ポストドク(神戸大学大学院農学研究科)

岡本真弓:(財)日本食品分析センター

尾崎嘉昭:アサヒビール(株)

宮本文生:日華化学(株)

横山明幸:サントリー(株)

東陽介:進学(神戸大学大学院農学研究科)

的場祐衣:進学(奈良先端科学技術大学院大学大学院)

田港麻佑子:フジパン(株)

日本農芸化学会2008年度大会

3月26日(水)から29日(土)にかけて、日本農芸化学会2008年度大会が名城大学天白キャンパスにて行われた。本年度の発表者は岡本(M2)、的場(B4)の2名。両者とも、本年度限りで研究室を去るため学生生活最後の学会発表となったが、前日が卒業式というハードスケジュールにも後押しされ、研究発表だけでなく、それ以外のところでもパワーを持続！

夜には、研究室 OG である小野(旧姓、豊田)佳子氏の農芸化学技術賞のお祝いに集まった水野先生、小原先生(名城大学)、玉城先生(琉球大学)らに混じり、学生最後の美酒を楽しんだ(昨年度修士修了の野淵翠氏も合流)。

さらに、修了生・卒業生のパワーはそれだけではなかった。学会会場の機器展示ブースにて岡本が iPod Shuffle を、的場は名城大学焼酎をゲット！

最後の最後まで、食品・栄養化学の学生らしさを見せてくれた(?)。

一方、岡本の研究テーマを引き継ぐ期待の新人、下秋智寛(B3)が自身の勉強と岡本の応援を兼ねて同行。橋本助教(O1年度博士)とともに様々な講演を聞き勉強するはずだったのだが、抽選会や連日の宴会が彼の目にはどのように映ったのか。4月以降の彼の研究に期待したい。

下秋(B3)から一言。

今回、学会の会場が実家から徒歩で行ける距離にある大学で、よく知っている場所だったので実家への帰省をかねて初めての学会に参加してきました。実際に学会に行くまでは学会がどんなものなのか全くわからなかったのですが、今回は自分で発表

をするわけではなかったので橋本先生について発表を聞いて回ったり、実験機器メーカーが出展しているブースを見て回ったりして学会の雰囲気を楽しめることができました。また、岡本さん、的場さんの発表もとても上手くて、かつよかったです！今回、学会を見学して学会の雰囲気はつかめたので今後は自分の研究を頑張っ、今度は自分が学会で発表ができるように頑張りたいと思います。

下秋君4月から頑張ってください！



発表終了後、正面入口にて記念撮影。左から下秋(B3)、橋本堂史助教、岡本(M2)、的場(B4)。岡本は iPod Shuffle、的場は名城大学焼酎を手にも満面の笑顔。

来月の食品 News

新メンバーを迎えて平成20年度の研究室がスタートしました。来月の食品ニュースは新4回生、M1 の紹介、恒例のお花見&おでんパーティーの模様をお伝えします。お楽しみに！

業績

論文発表)

Oi Naomi, Hashimoto Takashi, and Kanazawa Kazuki, Metabolic conversion of dietary quercetin from its conjugate to active aglycone following the induction of hepatocarcinogenesis in fisher 344 rats *J. Agric. Food Chem.* 56(2):577-583, 2008

学会発表)

日本農芸化学会2008年度大会、2008年3月26-29日、名城大学(名古屋)

○岡本 真弓、橋本 堂史、永井 雅、奥西 勲、金沢 和樹「西洋わさび葉抽出物由来ケンフェロール配糖体による薬物代謝第二相酵素の活性化について」、大会講演要旨集、p.298

○的場 祐衣、水野 雅史、橋本 堂史、金沢 和樹「真昆布由来フコイダンに対するモノクローナル抗体の作成」、大会講演要旨集、p.122

編集後記

編集員の吉村(M1)です。まずは私の怠慢にて刊行が遅れてしまったことを深くお詫び申し上げます。昨年度に引き続き今年も食品 News の編集を担当させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します！

3月は研究室も閑散とすると思っていたのですが、今年は引継ぎのため、就職準備の合間を縫って新4回生に実験指導しておられる先輩の姿が多々目に付きまして。そのため本来はお別れの季節なのですが、残念ながら今年はそういった実感があまり湧いてきませんでした…。卒業・修了される先輩後輩へ、今までお疲れ様でしたありがとうございます！

最後に個人的な今年の抱負として、公私ともにお世話になった尾崎さん(M2)に習い、新4回生・M1らとともに研究室を盛り上げていきたいと考えています。もちろん自分の研究も頑張ります！

吉村和人(M1)